

中部地方の沖釣り情報



この時期、沖の海中を漂う黒褐色の浮遊物は？

質問： 先日（4月29日）鳥羽市石鏡港の遊漁船で“ウタセ真鯛”に挑戦しました。 天気も良く、好釣を期待しましたが、海中に小さな黒褐色のモヤモヤしたものが浮遊し、道糸にも絡みつき大変わずらわしく、最終的に貧果に終わってしまいました。
船長は“ドロ”と言っていました。これは、何ですか？

これは、プランクトンの死骸です !!

回答： この黒褐色のモヤモヤの正体は、赤潮の原因にもなる「プランクトンの死骸」です。 特にこの時期、ある種のプランクトンの新陳代謝が激しくなり、沢山の死骸が海中を漂うようになります。



[海中の浮遊物]

この死骸は、分解するときに海中の溶存酸素を消費して酸欠状態を起こし、また鰓（えら）に挟まり魚が呼吸困難におちいり、就餌意欲も低下させます。

なお、英語の「plankton（プランクトン）」は、「プランクトン」の他に「浮遊生物」の意味もあります。

また、地方によっては“ノロ”と呼ぶところもあります。

< 情報提供：愛知県水産試験場 >